

防水取合対応避難器具用ハッチ レインボーハッチ

施工要領書

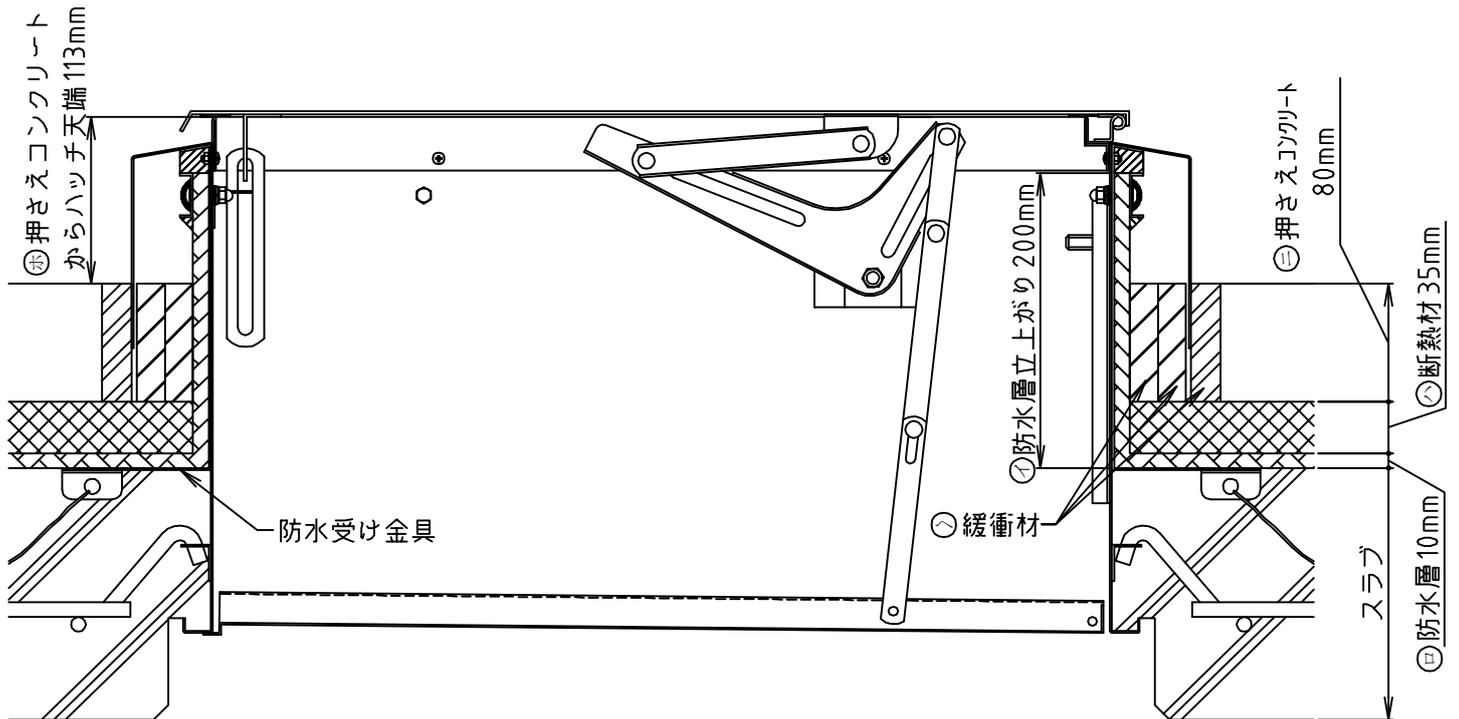
この度は、マルニシレインボーハッチをご採用頂き
誠にありがとうございます。

この「施工要領書」をよくお読みになり、正しい施工を
行ってください。

本製品はルーフバルコニー等において
アスファルト防水押え断熱仕様 + 保護コンクリート
仕上げなど施工する場合に適した、防水層との
取り合いに対応する避難器具用ハッチです。

株式会社 マルニシ

完成時の納まりについて



本製品は次の条件を満たして施工する設計になっています。

- ① 防水層立ち上がり 200mm
- ② 防水層厚さ 10mm
- ③ 断熱材厚さ 35mm (を標準とし、25mm～60mmまで対応)
- ※断熱材厚さが60mmを超える場合、ハッチ本体高さ変更の必要があり、オーダー対応になりますので事前に確認して下さい。
- ④ 押さえコンクリート 80mm
- ⑤ 押さえコンクリートからハッチ天端まで113mm
(上記①～③を満たす標準施工条件の時)
- ⑥ 緩衝材による上枠とコンクリートの遮断

以上の設定により、避難器具用ハッチと防水層とをしっかりと接続することが可能となり、防水性をより高めたものとなっています。

なお、対応できる梯子は、上記標準施工条件の時、ハッチ天端から下階床までの高さ5380mmの14段までです。それ以上の高さの場合、ハッチ本体厚さを変更する必要がありますので事前に確認して下さい。

本製品は下記の 3 梱包で 1 セットになっています。

梱包	<ul style="list-style-type: none">・ 本体（下蓋・アーム・防水押さえ金具付）× 1・ 予備部品 1 式
梱包	<ul style="list-style-type: none">・ 上枠（上蓋付）× 1・ 付属部品<ul style="list-style-type: none">トラスネジ M5 × 12 . . . 8 本M5 平ワッシャー . . . 8 枚スナップピン . . . 2 個スナップキャッチ . . . 2 個
梱包	<ul style="list-style-type: none">・ 緩衝材 A（内周用）. . . 8 本・ 緩衝材 B（外周用）. . . 4 本 <p>（長さはハッチ開口寸法により異なります）</p>

作業に必要な工具

プラスドライバー...上枠取付時、防水押さえ金具脱着時

スパナ 10 mm（M6 用）...防水押さえ金具脱着時

ラチェット 13 mm（M8 用）...アーム軸、下蓋をゆるめる時

ラジオペンチ...上枠取付時

ラチェット・メガネ 19 mm（M12 用）...ハシゴ取付時

工程フロー

建設業者様

ハッチ本体打込み

(上枠仮固定)

防水業者様

防水押さえ金具取り外し

防水層施工

断熱材施工

防水端末押さえ・コーキング

(上枠仮固定)

建設業者様

緩衝材 A 取付

上枠取付

緩衝材 B 取付

建設業者様

押さえコンクリート打設

ハッチ販売業者様

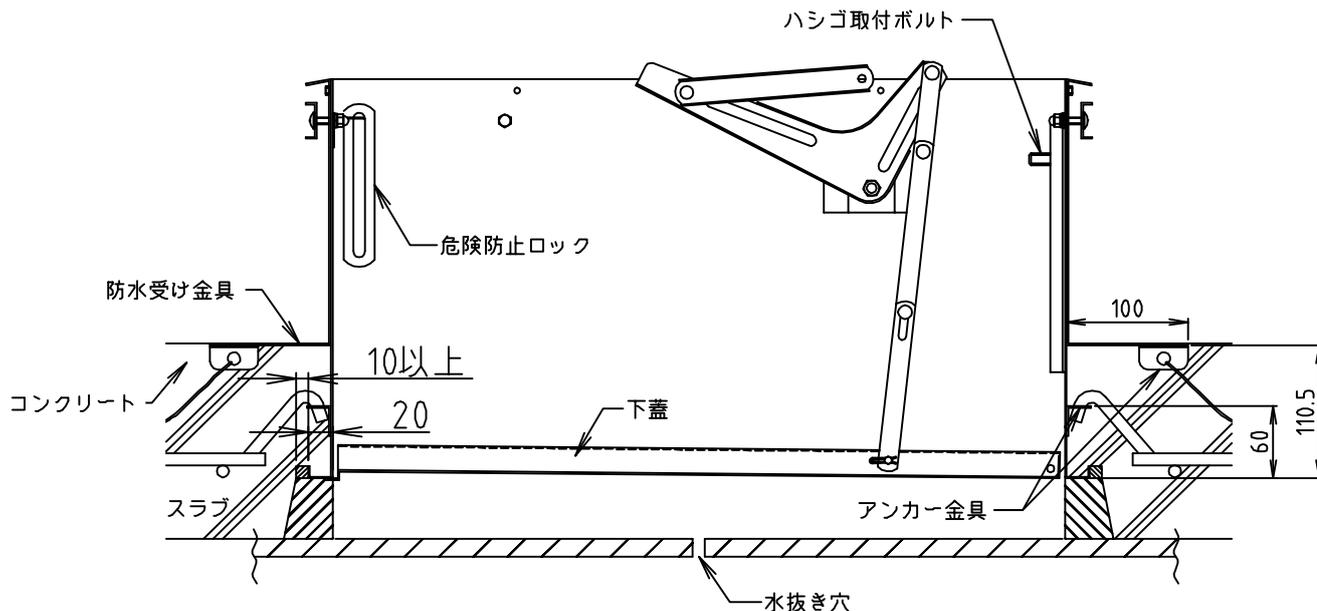
ハシゴ組込

レインボーハッチ 施工要領

- ▲ 警告：開口からの転落には充分注意して下さい
- ▲ 警告：施工方法を誤ると充分な防水効果が得られません

1 ハッチ本体打込み（建設業者様）

- ①ハッチの取付方向をよく確認して施工して下さい。
ハシゴ取付ボルト側（蝶番側）を壁側（室内側）に向けて設置して下さい。
（取付方向は各消防当局により違いますので、必ず所轄消防署に確認して下さい。）
- ②ハッチ外周部は壁面（サッシ水切り）や手摺（壁）等から防水施工上、
100mm以上離して設置して下さい。
- ③床厚に合わせてハッチの納まり高さ及び水平を調整して下さい。
防水受け金具をスラブ天端に合わせて下さい。
- ④型枠の上にハッチ本体をのせ、本体側面アンカー金具をコンクリートの配筋に溶接又はフック
掛けして下さい。ゲタをはかせる場合や二重天井などにする場合は下蓋が正しく開閉する
ように本体下部の縁（20mm幅）より10mm以上として下さい。
- ⑤防水受け金具とコンクリートとの剥離を防止するため、防水受け金具ウラ側にあるアンカー金具と
鉄筋等を番線で結束して下さい。
- ⑥コンクリートを打設して下さい。
防水受け金具ウラ側にしっかりコンクリートがまわり込むようにして下さい。
- ⑦コンクリート打設後、転落事故防止のため、別梱の上枠（上蓋含む）をかぶせて下さい。
（この段階では、まだ本体にネジ止め固定する必要はありません。）

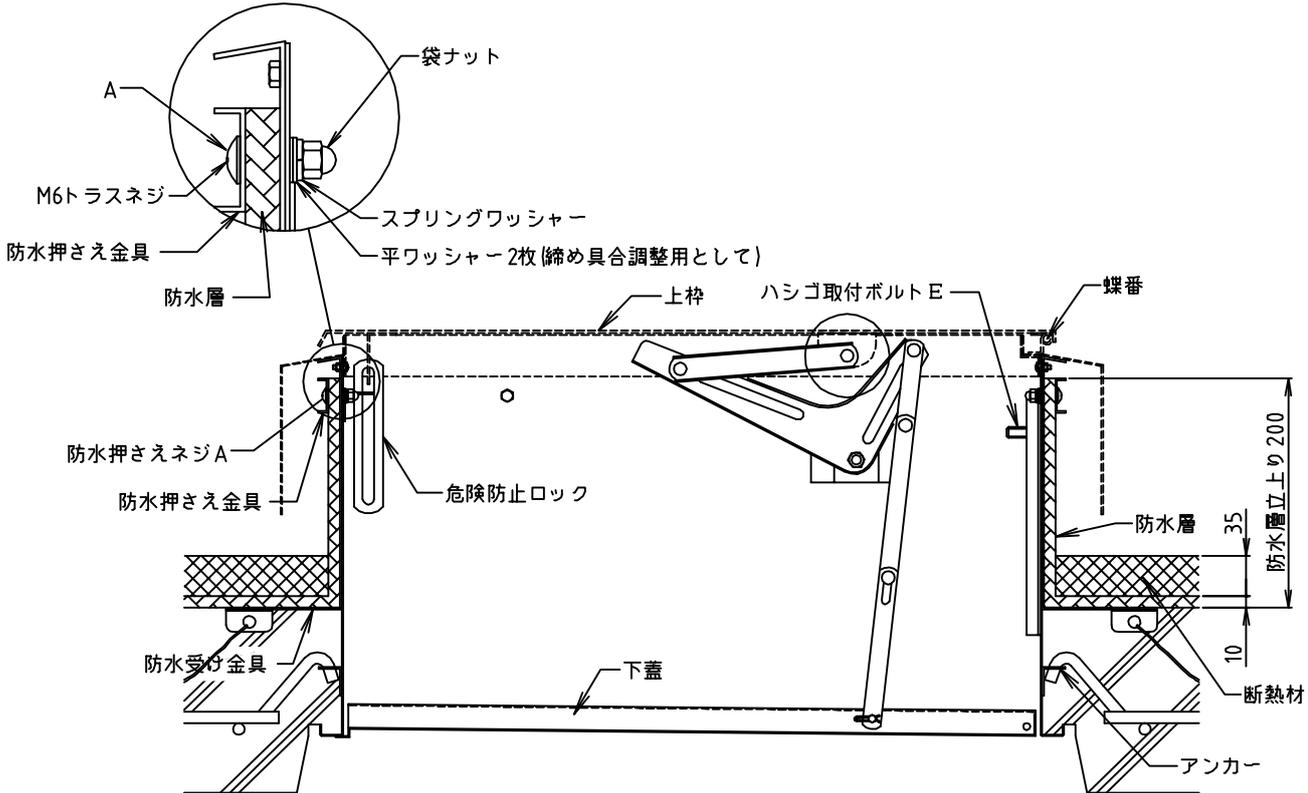


注意事項

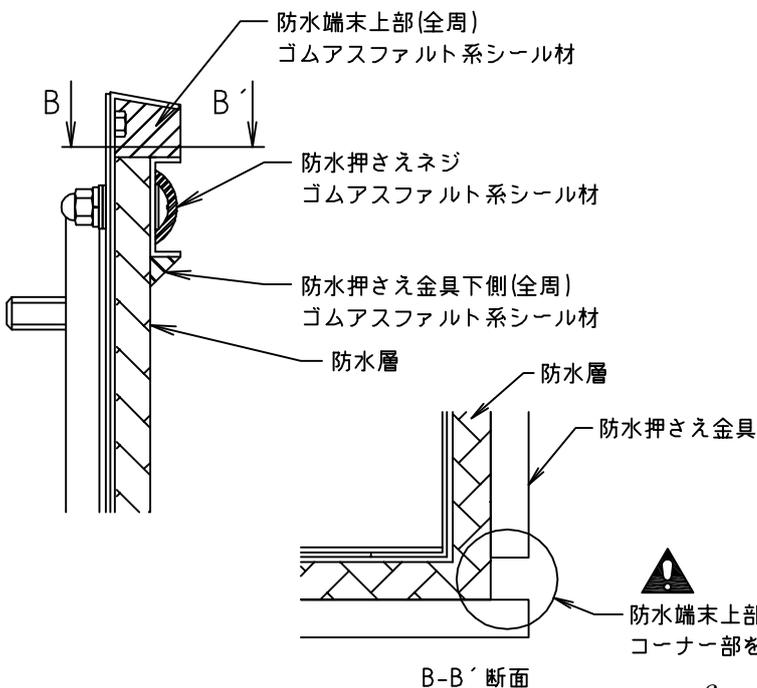
- ※ コンクリートの打設高さは防水受け金具までを限度として下さい。
- ※ 防水受け金具ウラ側にコンクリートがしっかりまわり込むよう打設して下さい。
- ※防水受け金具とコンクリートとが剥離すると防水に悪影響となりますので上記⑤は必ず行って下さい。
- ※開口からの転落事故防止のため、⑦の上枠をかぶせる作業は必ず行って下さい。
- ※上階及び下階の避難ハッチと同一線上にならないよう、ハッチ相互間を
600mm以上離して設置して下さい。
- ※物干し金物がハッチの操作やはしごの展張に障害をきたさないよう設置して下さい。
- ※コンクリート打込み時に、ハッチ内にコンクリートのトロが溜まらないよう
型枠には必ず水抜き穴を設けて下さい。（サビの原因となります）
- ※ハッチの上にものを載せないで下さい。（上枠・上蓋のへこみの原因となります）
- ※型枠、ゲタ、目地を外す際にはハッチの縁や蓋にバールを当てないようにして下さい。
下蓋のへこみ、枠の変形の原因となります。
（型枠を外す前に、ハッチが設置されている位置をよく確認して下さい。）

② 防水施工 (防水業者様)

- ①上枠取り外し かぶせてある上枠(上蓋含む)を取り外して下さい。
- ②防水押さえ金具取り外し 防水押さえネジA(トラスネジM6×20+平ワッシャー2枚+スプリングワッシャー+M6袋ナット-各面2箇所 計8箇所)を外し、防水押さえ金具を取り外して下さい。
- ▲外した部品・ネジ類は大切に保管して下さい。再度使用します。
- ③防水層施工 立上り200mm、厚さ10mmで防水層を形成して下さい。
- ④断熱材施工 断熱材(厚さ35mm)を施工して下さい
- ⑤防水端末押さえ ②で取り外した防水押さえ金具で防水端末を押さえ、ネジ(A)で固定して下さい。
- ⑥コーキング 防水層端末上部、防水押さえネジ部分、防水押さえ金具下側を ゴムアスファルト系シーリング材でコーキングして下さい。
- ⑦上枠仮固定 コーキング完了後、転落事故防止のため、上枠(上蓋含む)をかぶせて下さい。(この段階では、まだ本体にネジ止め固定する必要はありません。)



[コーキング詳細]



— 注意事項 —

※⑤の作業時、防水層に下穴をあける必要がありますが、防水層を剥がす恐れがありますので、ハッチ開口内から外に向かってあけないで下さい。

※コーキングの際、コーナー部もしっかりコーキングして下さい。

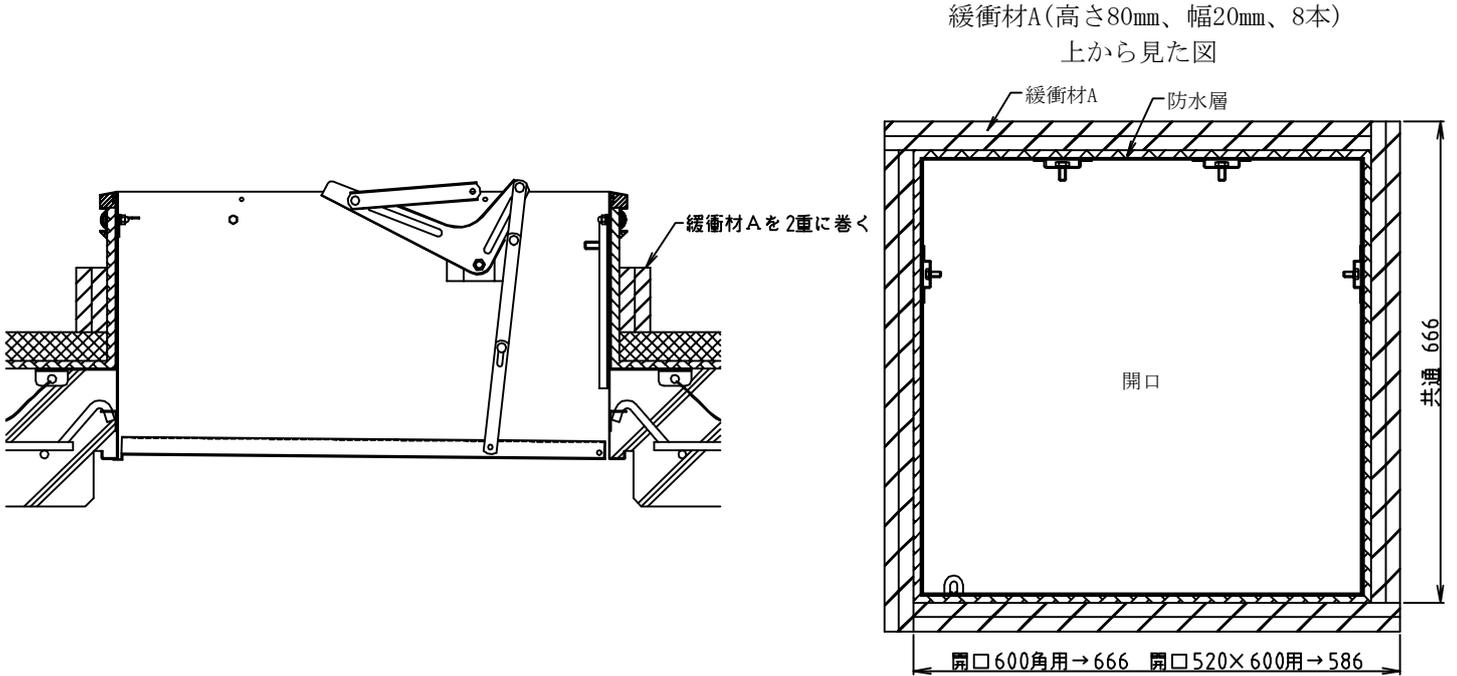
※開口からの転落事故防止のため、⑦の上枠をかぶせる作業は必ず行って下さい。



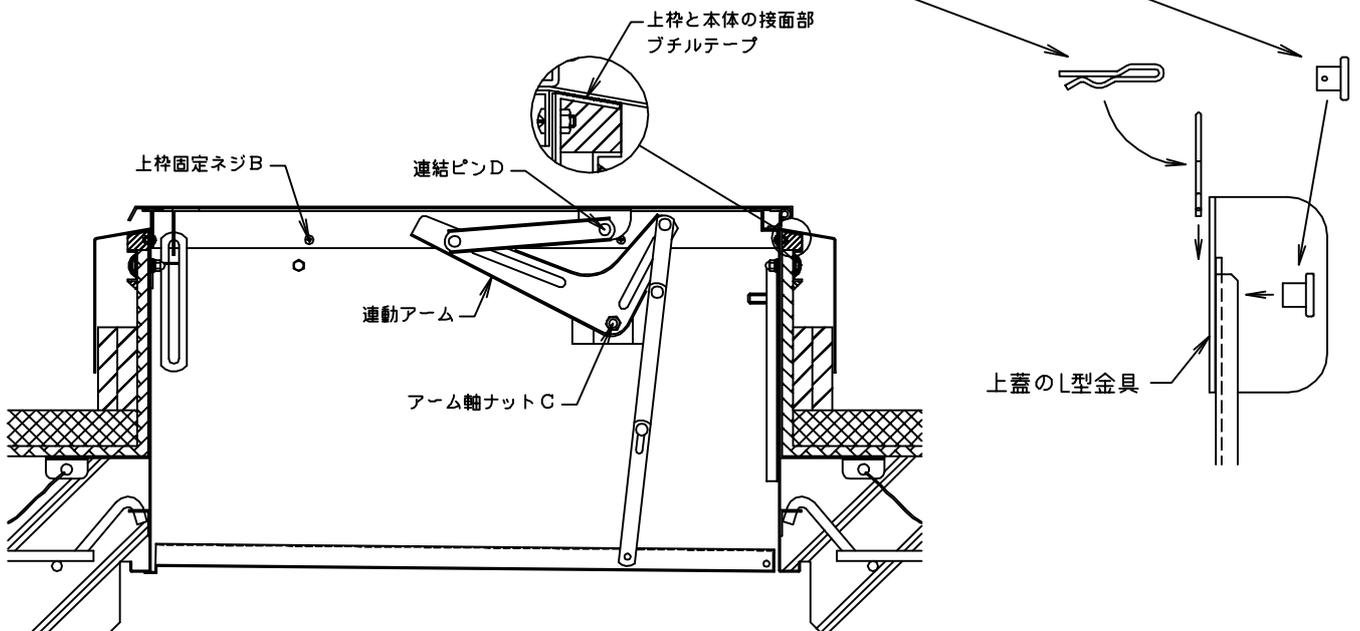
防水端末上部のコーキング時にコーナー部をしっかりコーキングして下さい。

③ 緩衝材・上枠取り付け (建設業者様)

- ①上枠取り外し かぶせてある上枠(上蓋含む)を取り外して下さい。
 ②緩衝材A取付 緩衝材A(高さ80mm、幅20mm)を防水層立上り周囲に2重に巻いて下さい。



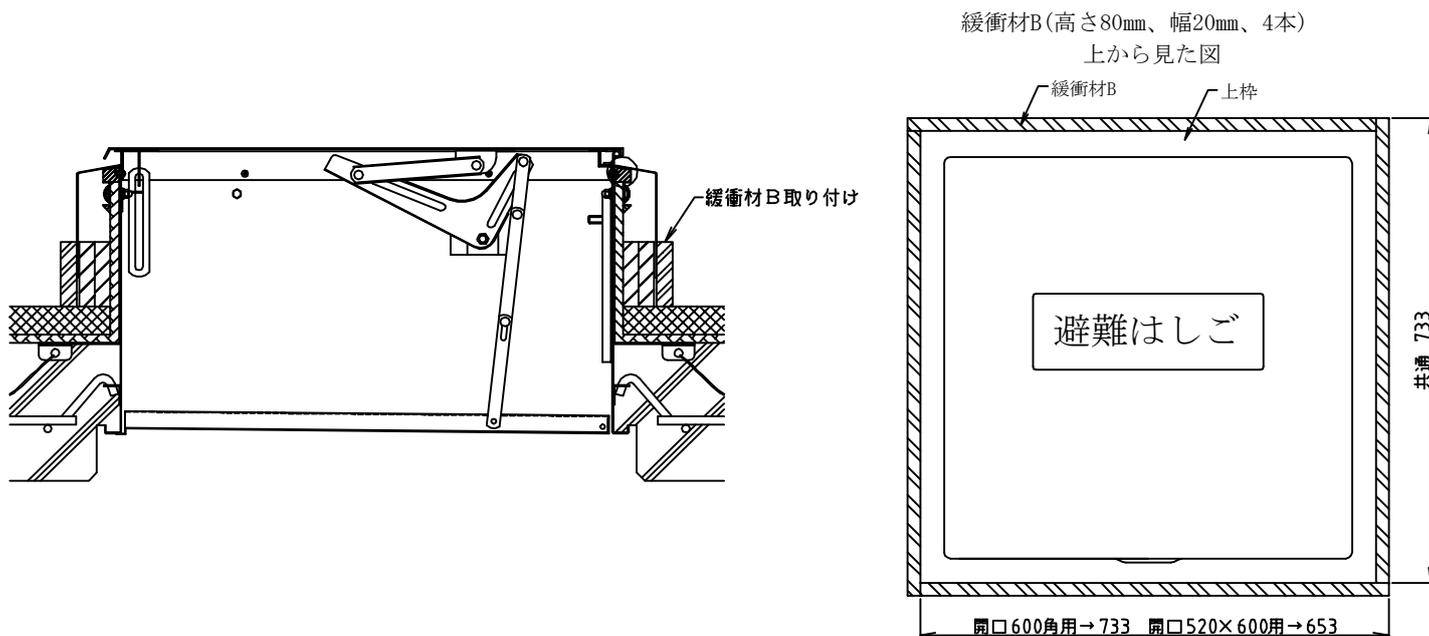
- ③上枠取付 本体にあらかじめ貼ってあるブチルテープの剥離紙を剥がし、
 ①で取り外した上枠(上蓋含む)を上枠固定ネジB(トラスネジM5×12+平ワッシャー-各面2箇所 計8箇所)で固定して下さい。
 次にアーム軸ナットC(M8ナイロンナット-両サイド面に1箇所ずつ 計2箇所)を約90度ゆるめて下蓋をひらいて下さい。
 上蓋と連動アームを連結ピンD(スナップピンとスナップキャッチ)で連結して下さい。



注意事項

- ※上蓋を閉める時は連動アーム左右を同時に手前に曲げて閉めて下さい。(下蓋も連動して閉まります)
- ▲※上蓋が90度以上開かないよう手で支えて作業して下さい。蝶番が破損します。

④緩衝材B取付 ③で取り付けした上枠の外側に緩衝材B(高さ80mm、幅20mm)を巻いて下さい。



④ 押さえコンクリート打設 (建設業者様)

厚さ80mm程度で押さえコンクリートを打設して下さい。

⑤ ハシゴ組み込み (ハッチ販売店様)

ハシゴを取付ボルトE(2箇所)に取り付け、ナット(M12)で締め付けます。

△ 2011.10.14 改訂

商品・施工に関するお問い合わせ先
株式会社 マルニシ 第一営業部
TEL 027-320-4512
FAX 027-388-3701
URL : <http://www.marunishi-net.jp>
e-mail : marunishi@marunishi-net.jp

商品改良のため、予告なしに仕様を変更することがありますのでご了承下さい。